

平成26年度 長野市産業振興審議会 第1回 観光振興専門分科会

日時 平成26年7月11日（金） 午後3時から午後5時20分まで
場所 長野市役所第一庁舎8階 第二委員会室
出席者 委員（13人中11人出席、2人欠席）
事務局5人

1 議長・副議長互選

- (1) 議長：笠原 甲一 様（長野電鉄株 代表取締役社長） 選出
- (2) 副議長：山崎 行夫 様（長野市ホテル旅館組合 理事長） 選出

【 主な意見等 】

2 議事

- (1) 長野市産業振興ビジョン（後期振興計画）重点プラン進捗状況の報告
（説明：観光振興課 小池課長）

【質問なし】

- (2) 長野市産業振興ビジョン（後期振興計画）中間評価について
（説明：観光振興課 小池課長）

【意見等】

- ・ 配布資料「まるごと体験BOOK2014」の通り、地域の方に、各種体験事業で努力していただきながら進めてきた。今後、これら体験を、お客様が独自に申し込みできるような仕組みを検討中。

【質疑等】

- ・ 入込客は、昨年から1万人増えているが、観光入込数と市内宿泊客数の算定方法について、聞きたい。少なくとも平成25年度は、インバウンド関係で黒字になった。宿泊もインバウンドの方が泊まる簡易宿泊所のような場所も増えていると思うが、集計方法を知りたい。インバウンドが増えているのだから、入込数は更に増えていると思う。任鉄協も1月から3月まで20数パーセント増えている。

【回答等】

- ・ 集計方法は、従来から大きな変更はない。

【意見等】

- 統計数値は、国内で統一されていない。各自自治体で別々の基準。観光庁でも統一を図りたいと考えるが実現できず、現時点の県や国統計は、市町村から提出された数値を集計したもの。実感として感じていること及び集計結果には不一致がある。小布施とか統計を見る限り、あれだけの集客に対し本市よりかなり少ない。数値にも意思が加味する部分があるのでは。
- 信濃町、小布施の信越観光圏の入込客数を見る限り、少ないと思う。実感として1万人しか増えなかったというのが意外で、小布施は増え、北斎館はどんどん減っている。

【回答等】

- 昨年途中の4月から12月までは、非常に入込客が好調で、2月の大雪により、灯明まつり、戸隠スキーも非常に落ち込んだ。結果とすれば昨年比で1万人増となった。

【意見等】

- 統計数値は、実際に集計できる部分と、推計により算出した部分がある。小布施ではあ

る施設に入った人数のみ集計し、本市では、ある施設に準じてこれくらい来ていると推計する部分が算入されている。審議会の指標で使っているのが、途中で算出方法を変更すると訳が分からなくなる。何が正しいかという議論もあるが、現状の集計方法を利用していただいている。

【質疑等】

- ・ 長野電鉄でも長野に来る外国人が急が増え、長野駅を通過する外国人について、見た感じだけでも良いと数えている。過去に遡れないし分からないが、例えば、野猿公園のキップ販売で話す外国語から国名を予想したり、御開帳時には、増えた外国人についても集計に反映するような方法を考えて欲しい。

【回答等】

- 参考に長野駅観光情報センターの利用者数は、24年度は、年間15万 3,000人の内1万 5,800人(約1割)が外国人。25年度は、利用者14万人の内、1万 9,800人が外国人で 4,000人伸びた。

【質疑等】

- ・ 宿泊の目標値が 220万人で、来年の御開帳時は当然多くなる訳で、目標数値を変更すべきではないか。

【回答等】

- 観光入込客数は、年によって上下があるので、5年間の平均数値を目標値として考えている。そのため目標値の修正は、考えていない。

【意見等】

- 目標は高いほうが良い。この位達成できるだろうという少なくとも仮想の設定をすべきではないか。ぜひ戦略として検討して欲しい。
- 年間を通し、全体を決めると支障がある。毎月とか四季折々の変化が1年間の中にあると思う。そうゆう指標も考慮し、26年度もどのくらいになるか分からないと思う。
- 22年度の計画作成時が 185万人、それに対し220万人なので宿泊は、比較的伸びている。
- 220万人を変更するのではなく、26年度にどのくらい極端に数字が伸びるのか知りたい。宿泊施設が足りているのか、長野市にどのくらいのポテンシャルがあるかを知りたい。それを受け、簡易宿泊施設を含めてもっと宿泊施設が必要なかを判断したい。重要な要素になる。

【質疑等】

- ・ 確かにコンベンション会議は、毎年増えている。
 - 今年度、各ホテルの稼働率が伸びている。細かく分析すると観光で増えているだけでなく、ホテル旅館組合にお聞きすると事業者の利用も増えてトータルで伸びている。定員ベースとしてキャパで考える市内宿泊数は、4千人と考える。目一杯詰めての4千人。
 - 4千室は、妥当な数字か。
 - 4千人です。部屋数にするともっと減る。通常、1年の内4～5日(1週間程度)、部屋が足りなくなる日がある。ただし、長野市というビジネス客が約7割の規模を考えれば、良い線かと考える。
 - 4千人をキャパとすると、365日で計算すると146万人にしかならない。すると 220万人との差は、どう埋めるのか。
 - 長野市の場合、民泊、宿坊がある。全てトータルになっていない。エージェント等と契約したホテル数です。簡易宿泊所も入っていないが、市内には、そのような施設も多い。

(3) 善光寺御開帳に伴う観光施策について

- ア 新幹線延伸・善光寺御開帳対策プロジェクトについて(説明: ウェルカム長野2015実行委

・ コンセプトの説明

新聞等で御覧いただいたデザインは、最初の印象で驚いた方も多いと思う。新幹線の金沢延伸及び4月の御開帳に併せ、本市では、市長直轄のプロジェクトを立ち上げた。市長は、平成27年を勝負の年と位置付けている。対外的な都市イメージ、ブランド力を向上させるための長野シティプロモーションの取組みの中で、本市の素晴らしさを伝えるキャッチフレーズを作った。「ながのご縁を マル縁 信都・長野市」です。市民の豊かな真心で訪れる人を手厚くもてなし、人と人が心を通わせ、一生変わらぬご縁を結び、四季折々の感動を共にする生涯交流観光都市を目指すという願いを込めている。

・ デザインは、縁がたくさん集まることを願いデザイン化したもの。御開帳の期間中、「日本一の門前町大縁日」のキャッチフレーズで、「おもてなし、にぎわい作り、まち歩き、市民参加」4個のキーワードを元に多彩な事業を行う予定。

・ 本年2月10日に設置した実行委員会の概要(資料7-2頁)。善光寺表参道キャンペーン部会及び交通渋滞対策の2部会があり、対策を講じます。キャンペーン部会は、駅から善光寺まで、ゆっくりまち歩きを楽しんでいただけるような仕組みづくりを検討中。

・ 御開帳は、4月5日からだが、ウェルカム長野としては、実施期間を3月29日の松代からの回向柱受入式をイベントと位置付ける。5月31日まで。

・ 別紙1 説明

・ 中央通りのピンク色部分を期間中の土休日23日間 午前10時から午後4時まで歩行者天国にし、各種イベントを開催予定。

・ セントラルスクエアをメイン会場にし、常設の仮設ステージ(10メートル×7メートル)を設置。前には300席の客席を置き無料休憩場所とする。周囲には、トイレ及び飲食、物販を予定。

・ トイゴ広場は、主にフードパークとし、飲食と物販を予定。

・ ほか中央通りに4箇所の破線部分を路上ステージとし、路上を使い様々な発表(ダンス、吹奏楽等)で市民参加のイベントを開催予定。

・ 後町小の跡地は、大型観光バスの専用駐車場に利用。計画で40台予定。こちらにバスを誘導し、後町から善光寺まで表参道を歩いてお参りしていただきたい。帰りは、歩いて後町小まで戻っていただく。新田町の交差点若しくは、その下辺りまで散策して欲しいといろいろな仕掛けを検討中。

・ 長野駅は、ウェルカムガーデンとして、花や幔幕、提灯、バナー等による飾付けを行う。

・ 長野駅から末広町は、土休日の歩行天でも交通関係で片側交通とする。特別な日のみ片側交通とする案も検討中。

・ 国道406号線の大門町からグランドハイツまでは、歩行天の日も片側交通規制を予定。

・ 新田町から上は歩道を利用した販売を行う。各種目的別ブースを配置したい。ほか中央通りに三曲等や写真展示等を検討中。

・ トイレ提供店舗との協賛、まち歩きガイド、運営ボランティアの活用を行う。

・ 別紙2 にぎわいイベント実施説明

・ 3月29日から6月1日まで、主に土休日の主なイベント掲載。まちかどコンサートや各種芸能を行いたい。中央通りで行われるイベント案を書き出した資料。

・ 4月4日は、駅からセントラルスクエアまでオープニングパレードを行い、セントラル

スクエアでイベント開催を予定。

- ・ 4月19日長野マラソンでは、出場者1万人を超える方が来るので、前夜祭、アフターパーティ等で楽しませたい。
 - ・ 4月25日は、中日庭儀大法要の日で非常に多くの方が来る。集客プロモーションパートナー都市の日とし、協定を結んだパートナー6都市に呼び掛けて、参加を促し、伝統行事や踊り等を披露、観光PR、物販をしてもらう予定。
 - ・ 5月3日からのゴールデンウィークで通常通りの花回廊と共同してイベントを盛り上げたい。
 - ・ 5月16日は、あくまで仮の検討段階、松本ぼんぼん、びんずる等、近隣都市の市民まつりとの競演で、路上での市民まつり競演を検討中。
- ・ 観光宣伝・誘客活動等
- ・ 滞在時間を延ばすために、戸隠、松代への誘客とシャトルバス運行を検討中。
 - ・ ほかに交通渋滞対策として、市街地になるべくマイカーが流入しないような流れを検討したい。

【質疑等】

- ・ 観光バスとか、小布施に行くバスとか、過去にいろいろあったと思う。停車位置というか、流れとか今回想定しているか。

【回答等】

→ 通常、観光バスについて、善光寺北側の大型駐車場にほとんど流れていく中、全てを南に移すのは不可能だと思う。一部を後町駐車場に分けてもらい、前回の御開帳では、シャトルバス乗降を国道406号線側で行っていたが、今回は、昭和通り入口で行って欲しいと関係所属と調整中。

【質疑等】

- ・ 駅からのシャトルバスも全て昭和通りで降ろすのか。

【回答等】

→ 全ては不可能。高齢者も多く足腰の悪い方もいる。なるべく健康な方には歩いていただく。歩くことで、楽しみを見つけていただきたい。

【意見等】

- ・ 協賛店でトイレを貸すというのは、借りる側からすると借り難い。使う人の身になって、例えば借り易いコンビニとかなら良いが、個人商店では一般客には入りづらい。そうゆうところをおもてなしネットワークと協力して検討して欲しい。

【質疑等】

- ・ パティオ大門という施設があるが、活用を何か考えているか。

【回答等】

→ これまでイベント案等は、商店街と協議を進めてきたが、パティオ周辺は、非常に周辺環境の美化に力を入れ整備されている。歩道を利用した各種物販をやると聞いており、周辺道路では騒がしいものを止めて欲しいと地元商店街から聞いている。特別な利用方法は考えていない。何もしなくても人が溢れる場所でもある。

【質疑等】

- ・ マイカーで来る人への対応で、駐車場とか南信や東信等から来る人は、マイカーで来る人が多い。何か配慮を検討しているか。

【回答等】

→ パークアンド・バスライドで、郊外でマイカーを降りて、シャトルバスで来ていただく流れが基本。できるだけマイカー流入を防ぎたい。できるだけ善光寺の近くまでマイカーで行きたいと考えるのが普通。例えば、スマホ等で交通渋滞や駐車場空き状況を発信する等して、混雑の緩和をしたい。

【意見等】

→ 特にインターチェンジを降りた場所の案内を分かり易く充実して欲しい。

- ・ 伊勢の式年遷宮で、行政側から「伊勢祭りは近鉄で！」と公共交通機関を利用してくるよう、半年前から広報活動をしていた。混雑緩和に役立つ。
- ・ 善光寺に一番近い駅は、電鉄の「善光寺下駅」。そちらから流す案があるか。東参道から、西参道からも検討して欲しい。公共交通の電車を使って、権堂商店街を歩いて抜けて善光寺に行ってもらっても良い。その辺の対策を検討して欲しい。

【回答等】

→ 検討したい。

【意見等】

- ・ こうゆうことを考える時に、石川、金沢は、お殿様の目で見ている。金沢駅周辺の拡大、香林坊、地図を開くと、次は能登半島の先まで非常に広域的な誘導をしている。長野市では、どうしても戸隠、鬼無里、松代という範囲になる。商工会議所とも話したが、駅前のインフォメーションは、長野駅に来るお客さんは、白馬、野沢、志賀高原に行く人がいる。長野駅は、バスのハブになっている。そうゆう考え目でインフォメーションも作って欲しい。しなの鉄道も沿線協議会というのがあり、長野電鉄でも沿線協議会が1年前に出来て、沿線の事を検討している。表参道にこだわるのも良いが、善光寺下からは、東参道で、途中から北国街道になる。昔の人は、この街道を歩いて来た。

なお、前回の御開帳でアンケートを取ったら、一番行きたいのが小布施だった。長野電鉄は小布施とのシャトルバスを運行しているが、今年は、須坂市もこれに追加させて欲しいと要望してきた。須坂市は、早い段階で、駐車場を須坂市に設置しようと提案しており、長野電鉄も須坂駐車場に駐車した方は、電車運賃を多少割引する。御開帳時は、特急も全て善光寺下駅に止めるつもりでいる。案内地図を作るなら広域的に東参道も検討して欲しい。イベント的には大賛成だが、来る人への配慮をいろいろな方面から考えて欲しい。

- ・ 御開帳時は、九反から道路が渋滞になる。真っ直ぐしか進めないが、交通標識に市街地を入れるとかすれば、以外と市街地の駐車場が空いていることが多いので、渋滞緩和に役立つ。
- ・ 分科会で、今更、決まっている事について、こちらから提言をして良いか迷うが、申し上げた事で、何か変わるという審議会なのかを教えて欲しい。

【回答等】

→ 御意見をいただき、必要であれば、参考にして内容変更もある。

【意見等】

→ 最初にキャンペーンマークについて、「ギョ！」と驚いたとかの話をされたが、市民はもっと驚いている。このマークに決まった経過というものが、市民に知らされていない。「ながのご縁を」をゆっくり読んで、「長いご縁を」という意味であると先日分かった。そうゆう説明がされていないし、突然出て来た経緯が分からない。そうゆう意見を随所で耳にする。まず市民に認められ受け入れられなければ、おもてなしにつなげようという気持ちにならないと思う。

「信都（しんと）」という言葉も突然出て来て、馴染めないし、御開帳までにこれだけの言葉に

馴染めるだろうか。市民が意識共有しなければ、いくら行政がおもてなしを掲げても、まったくおもてなしにならないと感じている。

- ・ 縁日の内容について、これは市民が楽しむのか、来た人が楽しむのか。前回、前々回と御開帳で、駅から善光寺まで、まち歩き等に参加させていただいたが、お見えになる方は、本当に善光寺さんに行きたい。一刻も早く善光寺さんに行きたいのが実感。これだけのイベントをやって、表参道を見て欲しいという思いはあるが、そこでやるのが、長野と全然かけ離れた、松本ぼんぼんとか、上田わっしょいでは、県外から来た人の頭を混乱させるだけで、止めて欲しいと強く思う。長野らしいものをそこでやるなら良いが、市民が楽しんでいる姿をお客様は別に見たくない。善光寺の御開帳に行きたいし、柱に触りたい。一生に1度だというお客さんです。私の個人的な意見ですが、ここで申し上げても何も変わらないと思いますけど、周りからはそのような意見もたくさん出ていると伝えたい。

→ 一番は、善光寺で2時間待たなければいけないことに問題があると思う。

→ 待つ間に何をやらせるかを真剣に考えないおもてなしはない。回向柱に触りに来ているのだから、周りイベントは、関係ない。

→ まち歩きで御案内しても善光寺さんに早く行ってくださいと思いながら案内している。大門町まで並んでいるから、一刻も早く行かないと柱に触れないという思いがある。

長野駅から降りた人をこのようなイベントで、引き付けようとするのは良いですが、本当に善光寺さんに人が来ているのだということを忘れてはいけない。

→ そう思う。2時間をいかに有効にできるかが重要。善光寺と一緒に考えて欲しい。

→ 回向柱は、いつでも触れると皆さんが知れば違うと思う。2時間待つ時間を別に使えるとなれば、今回のイベントが活きる。回向柱を複数本建てたり、柱が横になれば良い。

→ 8日に東京で、善光寺奉賛会が記者向けの発表を行った。記者からの質問で、回向柱1面だけでなく、4面触らないとご利益がない等の質問も出され、何か列を作りスピード化を図るような対策も検討すると聞いた。待つ人が何もせず、水も飲まずに待つのが苦痛だと伝えたい。

【回答等】

→ 先日、善光寺事務局の方と話したが、本来、境内は、飲食禁止ですが、昨年から水を飲むのだけは許容したと聞きました。

【質疑等】

- ・ 待つ人の行列は、最大で、表参道のどの辺りまで続くのか教えて欲しい。

【回答等】

→ 一番長い時で、大門町の信号の辺りまで行列が続いた。

【質疑等】

- ・ 仁王門前の石畳では、商売しても良いのか。お待ちいただく間のサービスはできないのか。

【回答等】

→ 境内ではなく、市道認定されており駄目です。

【意見等】

- ・ これまでの実質の現状からは、観光バス及びシャトルバスも、ほとんどの方がバスで降りて、回向柱に触るのに時間が掛かり、お参り後に、土産物屋をいくつか見て、バスにまた戻って出発する流れ。

→ 前回のまち歩きで、セントラルスクエアで使えるジュース無料券を配布したが、誰も来なかった。皆が待たされて疲れ果て、回向柱に触れば一刻も早く帰ってしまった。

→ 表参道のイベントに戻すには、伊勢神宮みたいに、それしか方法がなければ、戻るしかないが、原状からは非常に難しい。そこまで徹底しないと戻せない。余計混乱が起こる可能性が高い。

→ 御開帳時の混雑状況がひどくなれば、二年参りと同様に、警察がロープで人を規制し、一度進んだら戻れなくなる。本当に柱に触るだけ。本当は長野市に宿泊して、本堂が閉まった後、糸がつながっているから、ゆっくり触っていただける。ただし、善光寺に対しては、本堂が閉まってからお参りしてくださいとはアピールできない。夕方は本当にすいている。

・ おもてなしとして、いかにスムーズに回向柱までアプローチできるかが、本当のおもてなしである。私も審議会の一員であるので、一緒に進めることであるが、表参道でのイベントも相手の意思を考えずに自己中心、「我田引水」だと思う。柱を触った後で行きたいのは、小布施や温泉である。いろいろやっても嫌な思いをするだけかとも思う。それで前回同様に国道 406号線で、乗降できないかと質問した。その方が客にとっては助かると思う。本当に難しい。

・ お客さんが、善光寺にお参りし、通常は、その後散策しなくても、その後でどう動くかは、今回このようなイベントをやっていると周知されたら、見てみようという気持ちになると思う。全員が小布施に行ってしまうという前提では、今回のような発想は何もできない。そこを何とかしたいからこのような問題が出てくる訳だ。

・ 少しでも地元にお金を落として欲しい。いろいろなお客がいて、ある人はイベントを見てみようと思うし、別の方は、お参り後は、早く北陸に行ってしまう。選ぶのはお客様。少しでも滞在時間を伸ばして、少しでもお金を落としてもらう策として考えた方が良い。

→ 予定がある人は次の場所に行けば良い。何か面白い事をやっているとというのは非常に良いことだと思う。全員が行かなくても良い。ただし、市民が見向きもしないものでは駄目。一番は、善光寺とこれら懸案等について、早く話しをして欲しいと思う。良い解決策があるか分からないが、2時間も待たされる状況を改善して欲しい。お客がかわいそう。

【回答等】

→ 表参道のイベントに少しでも引き付けて、渋滞を少しでも緩和できればと思う。

【意見等】

→ 本当は、夜8時頃から始まるイベントならもっと良かった。そうすると夜なら触れます。イベントもやっているとアピールできる。早朝と夜は、ゆっくり触れますと宣伝して欲しい。

【回答等】

→ 4月は寒くて駄目ですが、5月ゴールデンウィーク明けになれば、夜もセントラルスクエア等でイベントをする予定。

【意見等】

・ 逆の発想だが、あれだけの人が2時間も待たされて、回向柱に触るという体験は、ご利益もあるし、一生の思い出になると思うが。善光寺の大きい行事開催に併せて、見に来た人で渋滞する。平日中の普段は、それ程でもない。

・ 先に松本ぼんぼん、上田わっしょいの話が出たが、市民がただ参加して騒ぐというものではなく、広域観光のひとつとして、長野市に来たついでに、松本城や真田丸に触れられる、広域の観光PRのために開催、参加する。ただ市民が馬鹿騒ぎするものではない。認識して欲しい。

→ 広域観光であれば、須坂市も小布施も近くですよ、お殿様の目というか、長野市は観光のハブになっていることを意識して欲しい。

【回答等】

→ 広域観光で考慮します。

【意見等】

・ 商店街という言葉が好きで、住民と一丸となってやるのは素晴らしい。イベントがあることを

知らないで来るお客さんも多いと思うので、コンビニや店舗に立ち寄れば、本日の開催イベントや善光寺さんのガイドも説明でき、トイレの場所も教えられるように、市民の皆さんになって欲しいと思う。

→ ガイドで、ボランティアを集めたら、使命感を持って、そこに立っていて欲しい。ひとまとめに人数だけを揃えましたでは困る。

イ 観光振興課の善光寺御開帳に係る報告事項等について

(ア) 長野市観光情報センター再整備に係る実施計画（案）について

（説明：観光振興課 花立補佐）

- ・ 長野市観光情報センター再整備に係り、広域観光に対応した情報発信と案内機能を強化し、隣接のコーヒーショップと一体的に寛ぎながら情報入手できるラウンジ的な機能を持たせたい。
 - ・ 主な機能強化の内容（ソフト面）説明
 - ・ 主な施設の特徴（ハード面）説明
- 2次交通の企画キップを今後調整したい。

【意見等】

- 2次交通は、ぜひ実現して欲しい。JRでも外人向けの新幹線乗り放題が成功している。
- ・ 概算経費
 - ・ 工期説明
 - ・ 新運営体制、愛称：「おいでなして！NAGANO」

(イ) 長野市善光寺表参道ガイド協会

（説明：観光振興課 花立補佐）

- ・ 概要説明
- ・ ガイドコース案
- ・ 研修計画（座学研修：必須、実施研修：任意）
- ・ 活動拠点案及び事務局

【意見等】

→ インバウンド対応可能、飛び込み受付可能なガイド協会にして欲しい。

【回答等】

→ ガイドの中には英語が話せる方もいる。ただし、性格上ボランティア。予約を受けて対応したい。飛び込みでの外国語対応は、困難。

【意見等】

- 現状、外国人客が全国的に増えており、現地での不満は、言葉の問題。飛び込み可能になれば便利。
- 相手に伝えようとする気持ちがある人なら大丈夫。
- 一番のおもてなしは言語。コールセンターも増えており、日本は綺麗で、人間が優しいが、言葉が駄目。情報センターは、外国語対応できなければいけない。
- 奈良は外国人が多い。何をしたいとかどこへ行きたいなら普通の人にも聞き取れる。中国人であれば、筆談でも通じる。引いちゃいけない。答えようとする気持ちが大切。
- ガイドが 160人も集まるのは素晴らしい。定年し、やりがいを求めている方がいる。

【回答等】

→ 行政が驚く程、皆が熱心に研修している。今後の進め方も行政が全て決めるのではなく、ボランティアの皆さんで考える団体にしたい。

【質疑等】

→ 善光寺境内も案内できるのか。

【回答等】

→ 駒返橋までしか案内できない。境内では案内できない。

【意見等】

→ 10年間まち歩きを続けてきたが、駒返橋まで可能になったのが画期的。ハッピーを脱いで世尊院を案内した。その領域を侵さないように。非常に公認ガイド達に気を遣ってきた。

【質疑等】

→ 境内で、タクシー運転手がガイドしながら客を案内しているのを見た。許されるのか。

→ 建物等の名前を伝える程度で、許されているのではないか。

(ウ) 誘客キャンペーン（市、奉賛会）について（説明：観光振興課 田中係長）

本市と歴史や新幹線、中部横断自動車道等でゆかりのある都市と、平成17年度の上越市を始め、金沢市、甲府市、静岡市、富山市及び平成25年度の福井市6市と「集客プロモーションパートナー都市」協定を締結し、双方の観光広報活動を活発化させ、市民の往来と交流を促進しながら、都市間の交流人口拡大と地域経済活性化を図ることを目的に、パートナー都市の市民に対し、観光情報の提供を実施している。特に善光寺御開帳と北陸新幹線延伸を控え、資料のとおり、誘客キャンペーンをパートナー都市と連携して実施している。

なお、これと並行し、善光寺御開帳奉賛会における誘客キャンペーンは、前回の平成21年よりも半年早く、誘客PRキャラバン活動を開始している。

【質問なし】

(4) その他観光振興施策について

【意見等】

- ・ 妙高発で、信濃町・戸隠を經由し、長野駅に行くバスルートを検討している。直ぐにはないが、関係団体と調整中。
- ・ 平成27年の戸隠式年大祭は、坊と神主で連携した初めての試みをする。
 - 奈良では興福寺と春日大社で仲が良い。戸隠もそうなれば良い。

以上